

学級担任のための

一人ひとりが輝く学級集団づくりチェックリスト

子ども理解	1	子どものよい面に注目することを心がけている。
	2	一人ひとりを理解するための手立てをもっている。
	3	子どもの行動には理由があることを踏まえ、行動を分析するよう心がけている。 【例】行動前後の状況分析の記録 など
	4	配慮を要する子どもの座席配置を工夫している。 【例】注意集中の困難な子どもは窓際を避ける。など
つながり	5	一人ひとりの違いを認め合えるきっかけづくりを工夫している。 【例】計画的な学級活動でのインカウターなどのプログラム実施 【例】継続的な日記指導・班ノート指導 など
	6	子どもどうしがつながるきっかけづくりを工夫している。 【例】継続的な集団遊びの実施、グループ学習の推奨 など
自信	7	一人ひとりに学級での役割（係り活動等）が明確にあり、各自が自己有用感をもつよう、きめ細かく評価している。
	8	学年相応の自己有用感をもてるよう、意図的・計画的な場面設定を行っている。
共感	9	さまざまな場面で、子どもの“おもい”を表現できる場を提供し、受け止めるよう努力している。
	10	子どもと対等な立場で“おもい”を語ることもある。